

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1136
施設名	きたひだまり保育園
施設所在地	国立市北3-4-2-1
法人名	社会福祉法人国立保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感触 2歳児「春雨② 寒天遊び」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
前回の感触遊びの反省を活かし、また春雨遊びをする。春雨だけでは飽きてしまうかもしれないことを想定し寒天遊びも一緒に行う。
全員に声掛けを行うが、無理に全員を対象とせずやりたいという子にだけ行う。

2. 活動スケジュール

令和6年11月～令和7年3月まで
子どもから自発的に〇〇したい！やってみたい！という要望があったときや雨天時日中の活動の中で子供の様子を見ながら行っていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
春雨だけでは飽きてしまうことを想定し、感触遊びで人気だった寒天も一緒に準備する。
寒天には色を付け4色準備した。
前回の反省を活かして透明のカップを今回は準備して色が混ざりあう様子を見やすいようにした。
自分の好きな色や道具などを自由に取りに行ってもらったため、椅子は用意せずに行う。
→好きなところへ行って好きなところで遊ぶ姿があった。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

おのおのが好きなように自分の好きな色の寒天や春雨を持ってきて手で感触を確かめたり、道具を使い変化させたり、混ぜたりする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・「春雨？」わかりづらい為「めんめん」と言い換えると「めんめんやるー！」と楽しみにしている姿があった。
- ・何作ってるの？→餃子！ 春雨がもっと欲しい→私のを分けてあげる
- ・フォークでまぜたあと→ストローみたい！（飲む真似を楽しむ）
- ・見てみて！色が混ざって綺麗だよ(カップを持ち上げながら)
- ・キラキラジュースが出来たよ 混ぜていくうちに紫色になった
- ・おうどんみたい→熱いから気を付けてね(実際は冷たいが熱い設定)
- ・手で触りながら→気持ちいいね
- ・大きなカップから小さなカップへ移し替え→「全部はいらないね」と気づく
- ・あっちのカップが使いたい。どうすれば使える？→「貸してって言ってみる」「かして、いいよ。」
- ・前回の楽しかった経験があるからか前回よりも長い時間楽しむ姿があった。「40～50分」
- ・お皿とお皿で押しつぶしたら間から溢れ出てきちゃった。
- ・もっとやりたい！「先生、取っておいてね。」

写真は園のホームページ→アルバム→「すくわく」参照

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・感触遊びを楽しみにしていて誘った際に楽しみに集まってきている子の姿が多かった。
- ・一度行ったことのある遊びだったので、飽きてしまうことも想定したが、長時間楽しむ姿が多く、前回よりも遊びの時間が長かった。普段の遊びの中ではなかなか経験できない感触のため遊びを楽しんでいるのだと感じた。
- ・「餃子を作っている」など声があり、こどもの想像は豊かだと改めて感じた。
- ・机上遊びだったが、椅子をなくしたことで自分の好きな場所、好きなところにすぐに移動でき、また欲しいものを友達のそばに行って聞いてみるなど関わりもあった。
- ・様々な感触を楽しむ子の姿が多く、冷たい＝夏の遊びという大人の考えをすぐに撤回し、集中し楽しむ姿があった。
- ・前回の反省点をいくつか活かしたことでまた新たな発見や気づきも見られた。